

広げよう深めよう信頼のきずな

— 2019 年度会長就任に当たって—

東京弁護士会会長 篠塚 力

1 オープンな議論と迅速な改革改善

東京弁護士会はすでに8400名を超える会員を擁し、その内60期以降の会員は4100名を超えています。会員の多岐に亘る期待に応えるべく、オープンな議論と迅速な改革改善に努めます。

2 社会と会員のために

世界では、ITの発展を背景にグローバル化が進む中、自国の利益を優先する勢力が台頭しています。国内では、日本国憲法の基本原理を揺るがす動きが強まり、経済の勢いが回復せず、少子高齢化・人口減少・人手不足が急速に進む中で様々な問題が生じています。中小企業の廃業や地方の過疎化が加速し、非正規労働者が増加し、貧困が広がり、救済や支援の必要が高まっています。しかし、多くの市民や企業は未だ弁護士を遠い存在としています。

一方、若手会員の業務状況は、改善の傾向はあるとはいえ、少なからぬ若手会員が将来に不安を抱えています。このミスマッチを解消し、会員が安心して活躍の場を広げて社会とのきずなを深めることに専心致します。

3 若手支援と貸与制への対応と財務問題

若手会員の業務機会の拡大、新規参入支援そして活動領域の拡大を推進します。民事司法改革により、若手会員の近未来の基盤の強化を目指します。

立法事実を集めて新しい給付制度を貸与制世代にも遡及させる活動を継続します。貸与金の返還のための貸付制度の周知とともに、貸与制世代への特別措置について、財務問題への取組を通じて、その実現を目指します。

東弁財務は、これまでも健全化のための取組が行われながら、今なお単年度の赤字傾向が続く難題です。会員の理解を得て、経費の削減に努めます。

4 憲法改正と刑事司法改革

憲法改正への動きが加速しています。現在検討されている改正提案及び憲法改正手続法には問題があり、引き続き問題点を指摘して参ります。

人質司法を排し、捜査公判を通じて身体不拘束の原則の確立を目指します。そのための弁護人立会権、起訴前保釈制度及び勾留前からの被疑者国選弁護制度の実現に向けて、立法活動とともに会内の態勢整備に着手します。

死刑執行の停止を求めるとともに、死刑廃止に関する議論を深めて参ります。

5 男女共同参画の推進、人権擁護の推進、大規模災害対策

弁護士、弁護士会における男女共同参画の推進は急務です。日弁連及び当会の基本計画を着実に実施して参ります。

多数派の無関心がLGBT、障がい者、外国人などのマイノリティに痛みを与えています。私たち自身が、その痛みを深く理解して行動するとともに、差別禁止や必要な保護の実効性の確保を目指します。同時に、貧困、子ども、消費者、高齢者、患者、犯罪被害者、えん罪被害者、民暴対策を含む人権擁護活動に取り組みます。

大規模災害に対応するため、法律相談や復興支援態勢の整備を進め、原子力損害からの回復への取組を強化するとともに、他会との連携強化など当会としての事前対策を積み上げ、減災に努めます。

6 弁護士自治と多摩支部

弁護士自治の重要性について、その認識を高める活動を強化し、その趣旨に則り、多摩支部の本会化に向けた議論の進化に取り組みます。

お気軽に会長室にお立ち寄りください。

2019年度の役員に

誌上インタビューを行いました。

1年間よろしくお願いいたします。

質問

- ① 一番関心のあることは何ですか？
- ② 一番大切にしていることは何ですか？
- ③ 長所・短所、趣味は何ですか？
- ④ 座右の銘は何ですか？

広げよう深めよう信頼のきずな

会長 篠塚 力 (36期)



- ① 会内の多様な意見の調整。東弁財務が厳しい状況にあり、改革改善が必要であること。その中で、多岐に亘る会の活動を支え、市民、企業、自治体すなわち社会からの、弁護士、弁護士会への信頼と期待を高めていかなければならないこと。
- ② オープンな議論と迅速な行動により、現在ののみならず将来の会員そして社会のためにな

る改革改善を成し遂げること

- ③ 長所・短所：決断と行動が早い
趣味：妻の家庭菜園や花壇の世話の手伝い、老柴犬のエリーの相手、卓球とゴルフ（どちらもけがで自粛気味）
- ④ 「深沈厚重」どっしりと落ち着いて深みのあること。

弁護士、弁護士会の将来を考える

副会長 中西 一裕 (42期)



- ① これからの弁護士、弁護士会のあり方です。司法改革で弁護士人口が飛躍的に増加し、活動領域や業務形態の拡大が進むとともに弁護士像が変貌しつつあります。そうした中で弁護士のアイデンティティと自治をどう維持していくかを意識し続ける必要があります。その核心はやはり「当事者の立場で人権擁護と社会正義を追求する法律専門家」という

ことになると思います。

- ② 思いやりと信頼。規律ある生活と健康管理。
- ③ 長所は明るいこと、くよくよせずに切り替えが早いこと。短所は大雑把なこと。趣味は読書（文学・歴史系）、コンサート・観劇、海外旅行など。
- ④ これといって座右の銘はありませんがあえて挙げれば、Think globally, act locally！

新しい時代の出航を共に

副会長 池田 和郎 (44期)



- ① 弁護士会をあらゆる会員にとって、魅力的で信頼できる組織とするか、ということです。そのために、如何に会員の知見を結集し、弁護士会を活力あるものにするか、という視点で1年間務めたいと考えております。
- ② 一期一会、人との出会いを大切にし、人の話を十分に聞き、様々なことを吸収し、人と人との絆を深めていきたいと思っています。
- ③ 長所は安定感のあること、人の話をよく聞

いて対応すること、短所は、優柔不断なことです。趣味は、古式泳法小堀流の段位を持ち、大学時代にヨットをかじり、海が好き、ですが、最近あまり行っていません。

- ④ 人生は、重荷を負うて遠き道を行くがごとし。永遠の未完成これ完成なり。色々な問題に直面しますが、その時々との与えられた使命を一步一步進んでいくしかないと考えています。

活力ある弁護士会に

副会長 江坂 春彦 (46期)



- ① 当会が今後も市民のため会員のため様々な活動を行えるように、健全な財務体質にしたいと思います。
- ② 物事を複数の視点(相手がある場合は特に)から見て、客観的に判断することです。
- ③ 長所：感情的にならず、いつも冷静に判断できること。他人の話をよく聞くこと。
短所：対象にもよりますが、アバウトなところがあります。

趣味：国内、海外の旅行です。三大瀑布(ナイアガラ、ビクトリア、イグアス)は制覇しました。

- ④ 座右の銘はありません。しかし、人生何が起きるかわかりません。好きな旅行も足が弱れば行ける場所が限られます。食事制限されれば好きなものも食べられません。ということで、やりたいことは先延ばしにせずすぐに実行するようにしています。

頼りがいのある弁護士会に

副会長 村林 俊行 (49期)



- ① 市民の皆様が弁護士会またはその会員を身近で頼りがいのある存在として信頼していただけるように、市民に寄り添うような活動を行うことと、会員及びこれから弁護士登録しようとしている方にとって魅力のある弁護士会となるような会員支援を行っていくことです。
- ② 先入観にとらわれず現場における様々な意見に謙虚に耳を傾けることです。

- ③ 長所は忍耐力があり、協調性があること、短所は情に流されやすいことです。趣味は、旅行、ゴルフ(篠塚会長の實力には足元にも及びません)です。
- ④ 「士は以って弘毅ならざるべからず」(中国古典)、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし」(吉田松陰)

未来を切り拓く弁護士会

副会長 永島 賢也 (49期)



- ① 役員就任にあたって一番関心のあることは、会内民主主義過程です。
- ② 一番大切にしていることは、①と関連しますが、会内民主主義のプロセスが適切に機能しているかどうか、という点を重視して行きたいと思っています。
- ③ 長所と短所は、いずれも好奇心旺盛なところ

ろではないかと思っています。趣味は、読書ですが、機会があればテニスをやってみたいと思っています。

- ④ 座右の銘は、特にありませんが、最近、自分自身の思考や行動が、日本語に限らず言語(の有する性質)に依存してしまわないように気をつけております。

法の支配を社会の隅々に

副会長 川村 百合 (49期)



- ① 世界平和と地球上のすべての人々が幸せに生きられる社会づくり。東弁のことで言えば、当会の人権擁護活動や政策提言活動等、これまでの誇れる活動を縮小することなく、かつ財政的に持続可能な弁護士会にするにはどうすればよいか。次世代の会員に、魅力ある弁護士会を引き継ぐにはどうすればよいか。
- ② 人との信頼関係です。
- ③ 長所であり短所であるところ…芯が強い

頑固、真っ直ぐ⇨真っ直ぐ過ぎる。

趣味はバレエ鑑賞と読書。ジョギングを趣味にしようとしたこともあります、三日坊主でした。

- ④ 座右の銘はとくにありません。古の偉人の言葉は、その時々状況に合わせて思い起こしはしますが、一つの言葉が常に当てはまるとは限りません。でも今の気分は「有言実行」かな。

Let's think about「東弁財政」!

監事 加納 小百合 (47期)



- ① 世界平和と子どもたちの未来と東弁財政です。
- ② 世界平和と子どもたちの未来と東弁財政です。
- ③ 長所かつ短所と思うことは「合理的であることを志向しつつ、涙もろいこと」
趣味は「テレビドラマの結末を推理して当

ててしまい、一緒に見ている子どもの楽しみを奪うこと」

- ④ 「質実剛健」(高校の校訓)
「(判断に迷うときは) その状態が自分として健全か不健全かで考える」(羽生善治九段)。東弁財政もかくありたいと思います。
1年間よろしくお願いいたします。

一年間頑張ります。

監事 吉田 修 (50期)



- ① 子供の小学校のPTA活動です。始めて、思わぬ子供、先生、保護者そして地域とのつながり、出会いがありました。関連して、少年問題にも関心を寄せています。
- ② 相手の考え方は、自分と同じと思わず、配慮し、慮ることです。
- ③ 趣味は4～5年前に始めた船釣りです。鯛

とかワラサが釣れます。長所は、細かいことに気にしないこと、もちろんそれは一方で、短所でもあります。

- ④ 「大きく目を開いてこの世界を見ろ」 自分の世界に閉じ籠もらず、固執せず、幅広く世の中、社会と付き合いたいと思っています。